

令和5年度 神宮前ぽっぽ放課後等デイサービス 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		現在は1階ホールや2階保育室が空いている時間帯は使用しており、スペースが十分に確保できている。時間帯によって使用できない場合は、テラスやコミュニティスペース等を使用してスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		業務の改善が必要な部分を職員会議等で検討をし、PDCAサイクルに基づいて実施を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケート調査の実施は行っているが、施設の設備等についてのご意見に対しては、即時の改善が難しい状況であるため、できる限り工夫を行う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		法人として第三者から外部評価を受けている状況である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		法人職員に向けた研修は定期的に行っている。内部研修や外部研修への参加を今後も積極的に行う予定である。
適切 な 支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		必要な場合には、発達検査の実施を医療機関や嶺南教育事務所等へ依頼をし、その結果を参考にしている予定である。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			

へ 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			毎月学校から下校時刻一覧表をいただき、下校時刻に合わせて送迎の実施を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			現在、医療的ケアが必要な子どもを受け入れていない状況である。今後、必要に応じて医療機関との連携を行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		今後、必要に応じて相談支援専門員と連携し情報提供を行い、スムーズに支援内容が移行できるようにする。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		保育園に併設しているが、直接的な関わりは持っていない状況である。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			○		個別支援計画書作成に於ける面談や送迎の際に行っているが、毎日の利用ではないため、常日頃は実施できていない状況である。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		昨年度は同法人事業所（パラレル）と連携を行い、ペアレントプログラムの実施を行っていたが、今年度は実施できていない。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			面談を行い、重要事項説明書や契約書、利用者負担等の説明を行い、同意を得ている。また、今後、運営規定や重要事項説明書、契約書、利用者負担等の変更がある場合にはその通知を保護者に行い、同意を得る。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			希望者については、随時相談を受け応じていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会等がないため、全保護者同士の連携に対する支援は実施できていない。また、今後も保護者会の設立の予定はないが、保護者からの申し出があれば検討を行う。また、座談会等の保護者同士の繋がりができる場の提供を行っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			重要事項説明書にて苦情解決の窓口等の説明は行っている。また、施設内に苦情受付箱の設置を行っているが、苦情等の申し出はない状況である。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	法人全体の会報は発行されている。長期休暇等における行事の予定等は、アンケートにて参加希望を行う周知はしている。
	35	個人情報に十分注意しているか			○	事業所内の掲示やロッカー、下足箱の名前の掲示等は支援として行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個人情報やコロナウイルス感染症の影響もあり積極的な実施はできていないが、同法人事業所との合同行事の際には、地域団体の方に協力してもらっている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	各種マニュアルについては職員に周知はしている。保護者へは回覧できるよう掲示はしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	保育園との合同で年に2回、実施を行っているが、2回に限らず、必要に応じて定期的な訓練を行う予定である。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの事案が発生した際には、作成、回覧、状況の報告を行い、事業所内で共有し、改善策等について話し合いを行っている。